

《令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査結果報告（藤久保小学校）》

1 調査目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 調査結果

(1) 学力（平均正答率）**小学校4年生** 単位（％）

	埼玉県	三芳町	自校
国語	51.9	49	51.6▲
算数	62.6	62.1	64.8◎

学力（平均正答率）**小学校5年生** 単位（％）

	埼玉県	三芳町	自校
国語	56.9	56.6	60.7◎
算数	53.4	54.7	59.3◎

学力（平均正答率）**小学校6年生** 単位（％）

	埼玉県	三芳町	自校
国語	56.7	54.7	59 ◎
算数	50.9	50.4	54.4◎

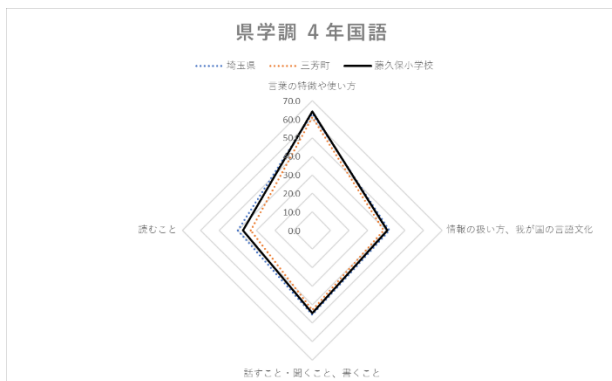
(2) 学習状況（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」の割合）※一部抜粋 単位（％）

質問項目	4年	5年	6年
1 学級での生活は楽しかったですか	93.9	93.4	92.8
2 将来の夢や目標をもっていますか	93	86	76
3 相手の顔を見て、はっきり挨拶をすることができますか	71	75	78
4 相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができますか	76	88	73
5 自分には、よいところがあると思いますか	81.7	74.5	65.2
6 学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか	77.4	87.7	87.5
7 学校の友達は自分のよいところを認めてくれましたか	90	94	93
8 授業で教えてもらった基本的なことは理解できたと思う	81	87	87
9 勉強していてわからないところがあったら、先生に聞く	62	64	52
10 1か月に、何冊くらいの本を読みますか（1冊以上）	75.7	70.8	69.7

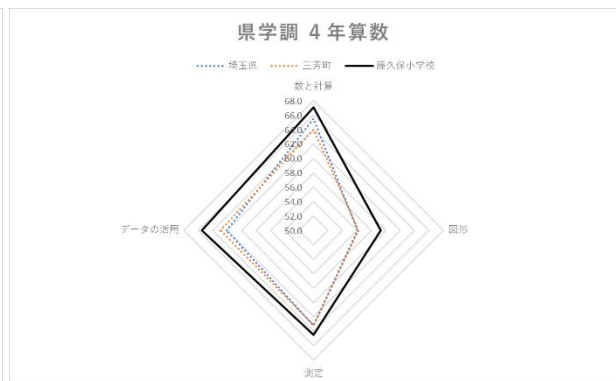
11	今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっていますか	70	69	55
12	進んで掃除をし、自分の担当場所をきれいにすることができますか	88	87	85

3 分析結果と課題

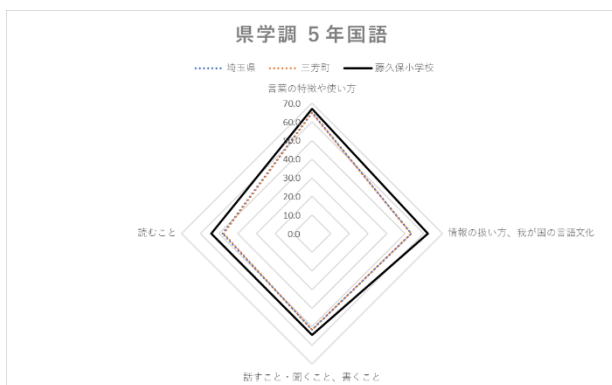
4年国語



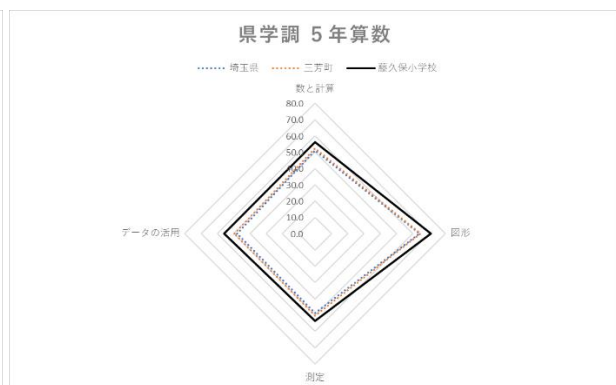
4年算数



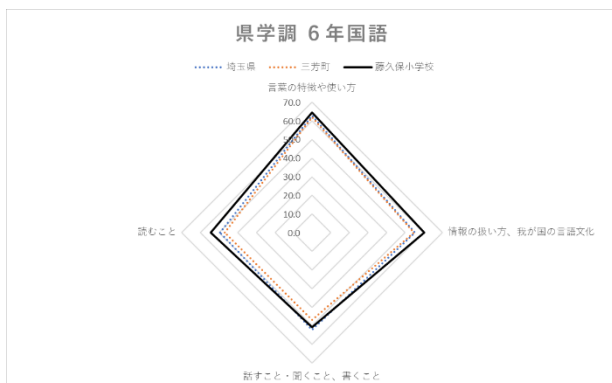
5年国語



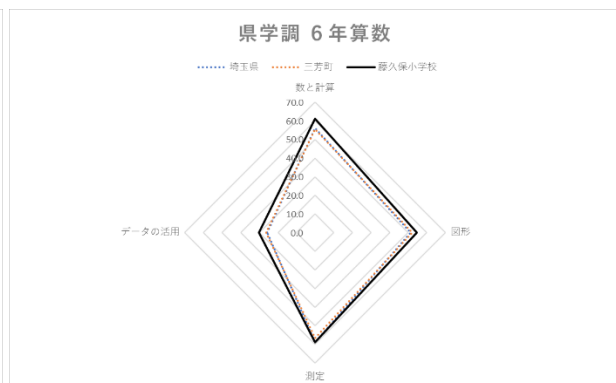
5年算数



6年国語



6年算数



【4年国語】

- ・言葉の特徴や使い方に関する事項でよい状況である。
- ・情報の扱い方、話すこと、書くこと、読むことについて課題がある。
- ・好意度が低い。授業に主体的に取り組めるとさらに学力は向上する。

【4年算数】

- ・どの領域もよい状況である。
- ・好意度が低い。習熟度に応じて興味関心を高めることで学力も向上できる。

【5年国語】

- ・どの領域もよい状況である。
- ・好意度が低い。授業に主体的に取り組めるとさらに学力は向上する。

【5年算数】

- ・どの領域もよい状況である。どの領域でも5割以上正答率が高い。
- ・好意度が低い。問題解決型の授業で指導することで意欲も向上できる。

【6年国語】

- ・話すこと・聞くこと・書くことの領域に課題がある。
- ・好意度が低い。授業に主体的に取り組めるとさらに学力は向上する。

【6年算数】

- ・変化と関係領域に課題がある。
- ・好意度が高い。主体的に取り組んでいるため、さらに習熟度に応じて興味関心を高めることで学力も向上できる。

4 課題の具体的解決策

- ・非認知能力の育成を視点を学力向上の手立てを講じる必要がある。
- ・夢や目標をもち、全ての教育活動に対して意欲的に臨めるようにする。
- ・学ぶ楽しさや学習の有用感が味わえるように授業を工夫改善する。具体的には、国語も算数も問題解決型の授業にし、主体的に取り組めるようにする。(学校オリジナルスタンダードの作成)
- ・子どもを主語にする授業の創造をする。→単線型の授業から複線型の授業へ
- ・学習の振り返りを大切にした授業にする。(振り返りの時間を確保する)
- ・教科部等を中心にした授業研究会を通しての指導方法の共有化を図る。

【国語】

- ・単元を通して言語活動が繰り返し活用できるような授業をつくる。
- ・授業を通して毎日言語活動の力が伸びるように指導する。
- ・漢字書き取りや音読等を帯学習として毎時間に設定し、習熟が図れるようにする。
- ・国語辞典を必携し、どの教科でも活用できるようにする。

【算数】

- ・よい問題を提示し、問題解決型の授業で展開できるようにする。
- ・自力解決時における数学的活動の充実を図るようにする。
- ・それぞれの学年における具体的な数学的活動について共通理解をし、活用できるようにする。
- ・問題を粘り強く解決する精神も高めていく必要がある。